

2012年2月6日号

生活協同組合
coop あいコープみやぎ
(発行)生活協同組合あいコープみやぎ理事会
〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町318-4番
TEL.022-284-7241 FAX.022-284-6973
http://www.namwa.coop

総代選挙公告

生活協同組合あいコープみやぎ定款第43条、第44条、第45条及び総代選挙規約第2条、第3条、第5条、第6条に基づき、2012年度総代の立候補を受け付けます。

*立候補受付期間 2012年3月30日まで
*立候補届または推薦届(被推薦者の同意の上)をあいコープ事業部経由で総代選挙管理委員会宛てに届けてください。

*総代選挙の被選挙権を有するのは2012年1月1日の組合員名簿に登録されている組合員です。

*2012年度総代選挙の選挙区と定数は右記のとおりです。
総代選挙管理委員会

選挙区	定数
泉A地区	31人
泉B地区	23人
青葉A地区	33人
青葉B地区	23人
宮城野地区	16人
若林地区	14人
しおさい地区	13人
石巻地区	6人
太白地区	27人
名取岩沼地区	9人
合計	195人

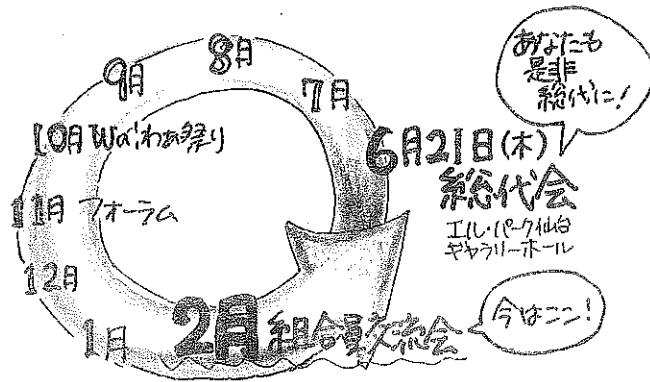
2月組合員交流会

～2012年の組合員活動はここからはじめます。～

光の春...2月。今年の冬は例年にも増して寒い日が続いていますが、日差しは着実に春に向かっていますね。2012年、生協あいコープみやぎの組合員活動の芽ぶきの季節がやってきました。今年の2月組合員交流会は、「3年歩いて到達しよう! あいコープみやぎ3年到達ビジョン」を皆さんと一緒に語り合おう。組合員であるあなたと、地域の皆さんと話し合ったことが、来期のあいコープの活動につながっていくからです。理事会では、各地区で開催される組合員交流会で話し合われた事をふまえ、来年度の活動計画を作り上げていきます。そして、6月の総代会で、組合員の皆さんの代表である総代の正式な承認を受け、来期の活動がスタートします。あいコープがどんな活動をしているのか、そしてこれからどんな活動がしたいのか。いろいろなことが見えてくるとも良い機会です。たくさんの組合員の皆さんのご参加をお待ちしています。

理事 吉野むつ

生協 あいコープみやぎの一年



この12ヶ月の中で、地区活動が企画されています

2012年度(地区委員大募集!!)

- * 組合員活動の基本は地区委員です! *
- <食・環境・福祉の輪が広がる!>
- ・自分の住んでいる地域を中心に活動します。
- ・あいコープの商品 あいぶんど あいごまん 調理実習などを企画しながら 組合員に発信します。
- ・あいコープの生産者の皆さんとの交流を企画していきます。
- ・定例会は月1回、平日午前中。地域の市民センターやコミュニティセンターです。

* 活動費の支給 地区委員は年間12,000円と交通費(実費) (2011年度現在) 定例会・委員会・委員学習会の集団脱乳は無料

専門委員会

2011年度現在の専門委員会活動

★ 石巻環境委員会

子ども達の未来のために 脱原発を進める委員会

★ WAのあひり実行委員会

・専門委員の活動費は年間10,000円
・WAのあひり実行委員は月10,000円

お問い合わせは
Tel 0120-255-044
Fax 0120-849-324
P9月間

あいコープカレンダー (1月27日現在)

2月組合員交流会日程

地区	月日	会場
石巻	2/13(月)	本草園
しおさい	2/22(水)	山王地区公民館
泉AB	2/17(金) 24(金)	桂市民センター 青年文化センター
青葉A	2/20(月) 3/2(金)	エルパーク 木町通り市民センター
青葉B	2/17(金) 28(火)	エルパーク 水の森市民センター
宮城野	2/16(木) 28(火)	福室市民センター 幸町市民センター
若林	2/14(火) 2/23(木)	七郷市民センター 六郷市民センター
太白	2/17(金) 21(火) 23(木)	中田市民センター 柳生市民センター 八本松市民センター
名取岩沼 亘理	2/23(木) 3/2(金)	岩沼中央公民館 名取市那智が丘公民館

* 詳しいことは各地区のお知らせをご覧ください。

3/12(月) 委員オリエンテーション 場所: 福祉アザール 時間: 10:00~12:00
6/21(木) 総代会 場所: エルパーク 時間: 9:45~11:00

ジョイア事務局よりお知らせ

入学祝・節目祝

「11中学校ご入学のお子様」
「加入20年目の組合員」
ポイントプレゼント
(2012年3月31日時点で組合員の方が対象。申請が必要)
2月27日～配布のチラシを見て申請してください。

◎特集 3年歩いて到達しよう!あいコープみやぎ3年到達ビジョン

理事が語る3年ビジョン! Part 2

2. 東北の復興は地産地消の再構築から! あいがんど・あいごはんで食卓づくりを!

あいコープなら、
できる!!



『分かって食べる』

あいコープの組合員は、これまでも自分たちが食べている物が、何処からやって来たのか、どんなおじさん(お兄さん?お姉さん?)が、どんな思いで作っているのかを、分かって食べてきましたよね。震災後は、この『分かって食べる』は更に重要性を増しました。自然の光と微生物がたくさん生きている土で育つ地元の旬の植物、その周りで自然の摂理のとおり野山で草を食む牛、自由に動き回れる鶏や豚。それら命のたいせつさを子ども達に伝えながら、美味しくいただく。そんな当たり前なことが震災の影響はもちろん、TPPなど経済発展に重きをおくが故の誤った方針などにより難しくなっています。

でも!! あいコープなら、その当たり前が、できる!!
きっと、できる!!

毎日、安心なおいしいあいごはんを食べるために、一緒に皆にとって幸せな『分かって食べる』は何かを本気で考えましょう。
理事 高野恵美子

脱原発世界会議
GLOBAL CONFERENCE FOR A NUCLEAR POWER FREE WORLD
2012 YOKOHAMA
2012年1月14~15日

原子力エネルギーの脱却と、再生可能なエネルギーへの転換をテーマに「脱原発世界会議」が開催されました。2日間の会議に世界約30か国の専門家らも含めて計11,500名が参加し、討論会・トークライブ・デモ行進・子ども向け企画等100以上の企画や「原発のない世界のための横浜宣言」があり、あいコープではブース出展をしました。訪れた方々は、宮城の状況を案ずる声が多く、積極的に情報交換をしました。

脱原発について強い関心のある方々が大勢います。世界中の仲間とともに脱原発社会に向けて進んでいきましょう。

子どもたちの未来のために脱原発を進める委員会 担当理事 鈴木智子



地区理事候補者の推薦に関する公告

あいコープみやぎ役員選任規約第6条に基づき、各地区の推薦委員会が地区理事候補者を推薦するに先立って、地区理事候補者に推薦されることを希望する組合員の申し出を受け付けます。

* 役員選任を行なう通常総代会は、2012年6月21日(木)午前9時45分より、エルパーク仙台ギャラリーホールにて開催します。

* 地区理事の定数は各地区1名です。(泉A、泉B、青葉A、青葉B、宮城野、若林、しおさい、石巻、太白、名取岩沼の10地区)

* 地区理事候補者に推薦されることを希望する組合員は、2012年2月17日までに、その旨と氏名・組合員番号・連絡先を記入した書面をあいコープ事業部経由で理事長宛に届けてください。

生活協同組合あいコープみやぎ理事会

生産者つうしん!

大震災後、あいコープみやぎの生産者の皆さんは、生産にどのように取り組んで来たのでしょうか? その思いを投げ止めて、買い支えて行きましょう!

安心安全な産直豚肉(じもとん)です!

大崎市 あい豚会

3/11震災後4日分の飼料在庫がなくなり、給餌量を約40%減らして入庫を行いました。電話も不通、1週間後やっと関西、九州方面から送料が入るようになりました。仙台屠場施設破損で、関東の屠畜場へ、その後5月上旬に仙台屠場、6月下旬には飼料工場も再開し、やっと正常な管理に戻りました。しかし、地域循環農業に欠かせない堆肥も飼料原料として地元産飼料米に取組んでいる中、放射能汚染が心配でした。幸い堆肥も飼料米の放射性物質は、いずれも不検出(セシウム134・137 10Bq/kg未満、堆肥のみ 8/24 → 12/6分析)でしたので、定着しているところです。今後とも安心安全な豚肉を生産していきます。



産直豚肉「じもとん」



日向一郎さん

(有)日向養豚 日向一郎

たいせつなこと

by 石けん環境委員会

「仙台の環境を未来の世代へ引き継ぐために、今私たちにできることは何でしょうか?」そんな環境社会実験を行っているFEEL Sendaiの未来70プロジェクト in 仙台の企画で、あいコープみやぎの石けん環境委員会が、委員先として選ばれ活動しています。

第1回目の太陽油脂の長谷川氏講演会に続き、2回目は「石けんワークショップ」を、エルパーク、食のマトリエで(11月24日(木))、3回目は上級編を同じエルパークで(12月1日(木))に行いました。講師はあいコープ石けん環境委員会担当理事の高崎でした。

学習会の内容は、まず「なぜ石けんが環境に優しいか」を中心に行いました。そもそも「洗う」というのは、どういったことなのか? どのような水質にもササササ...とつけて、いつまでも自然界に残ってしまう合成洗剤のからくりとその歴史。常に社会の状況で変わっていく市場の変化。そこには洗剤の変化、「洗う」という認識が常に変わっていくことを知ることが出来ます。「一度立ち止まって、足もとをみつめてみよう、洗うとは自分で汚れを区別し、それに合わせて洗剤の量を定めるのであって、たれがにきめてもらうものではない」ということに気がついてほしいと思い、話を進めました。

1回目の長谷川氏の講演から、3回目の上級編まで、毎回参加した方もいて、うれしく思いました。石けんを全く使った事のない方も参加していて、「使ってみよう」と言われ、今後地道な活動が必要だと感じました。(石けん環境担当理事・高崎あり)